

平成 20 砂糖年度国内産糖の目標生産費 算出基礎

1 てん菜糖

(1) 操業量 3 , 8 3 5 千トン

諮問の説明 2 の (1) の考え方による北海道における平成 20 年のてん菜の生産量を 3 , 8 3 5 千トンと見通す。

(2) 原料価格 1 6 , 7 6 0 円 / トン

平成 16 年産てん菜に係る最低生産者価格とする。

(3) 製造経費 8 , 4 6 9 . 3 9 円 / 原料トン

てん菜製造工場の最近年次における製造経費の実績を基礎として、諸経費の節減等を見込み算定した。

(4) 製糖歩留り 1 7 . 7 %

原料てん菜の高糖分品種への移行、栽培技術の向上を見込み算定した。

2 甘しや糖

(1) 操業量 1 , 5 6 1 . 2 千トン

諮問の説明 2 の (1) の考え方による鹿児島県南西諸島及び沖縄県における平成 2 0 年のさとうきびの生産量を 1 , 6 3 2 . 8 千トンと推計し、含みつ糖用として処理される数量 7 1 . 6 千トンを控除した数量 1 , 5 6 1 . 2 千トンを、同地域における分みつ糖用さとうきびの生産量と見通す。

(2) 原料価格 2 0 , 2 3 0 円 / トン

平成 1 6 年産さとうきびに係る最低生産者価格とする。

(3) 製造経費 7 , 2 2 5 . 3 8 円 / 原料トン

甘しや分みつ糖製造工場の最近年次における製造経費の実績を基礎として、諸経費の節減等を見込み算定した。

(4) 製糖歩留り 1 3 . 4 %

原料さとうきびの集荷管理の改善、優良品種の普及、糖分回収率の向上等製糖技術の向上等を見込んで算定した。

平成 2 0 砂糖年度 国内産糖の目標生産費

	て ん 菜 糖	甘 し ゃ 糖
操 業 量	3 , 8 3 5 千ト	1 , 5 6 1 . 2 千ト
原 料 価 格	1 6 , 7 6 0 円	2 0 , 2 3 0 円
製 造 経 費	8 , 4 6 9 . 3 9 円	7 , 2 2 5 . 3 8 円
計	2 5 , 2 2 9 . 3 9 円	2 7 , 4 5 5 . 3 8 円
歩 留 ま り	1 7 . 7 %	1 3 . 4 %
製品ト当たり価格	1 4 2 , 5 0 0 円 (1 1 9 , 5 0 0 円)	2 0 4 , 9 0 0 円

(注)()内は、てん菜原料糖に係る目標生産費であり、これを除くてん菜糖との販売価格の差を勘案して設定したものである。